

行政視察内容報告書

令和2年3月30日

土佐清水市議会議長

永野裕夫 様

会派名 みらい

(提出者) 氏名

吉村政朝 

下記のとおり報告します。

|                 |  |                                 |                                  |
|-----------------|--|---------------------------------|----------------------------------|
| 項目              | <input checked="" type="checkbox"/> 現地調査   | <input type="checkbox"/> 行政視察   | <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 |
|                 | <input type="checkbox"/> 研修会への参加   | <input type="checkbox"/> 会議への参加 |                                  |
| 参加者             | 浅尾公厚 作田喜秋 武政健三 山崎誠一<br>石口佳保 吉村政朝 計 6人  |                                 |                                  |
| 期日              | 令和2年2月6日 から 令和2年2月7日 まで  |                                 |                                  |
| 【概要】(年月日・場所・内容) | <p>年月日 令和2年2月6日から令和2年2月7日まで</p> <p>場所 空戸市役所内会議室及び「道の駅」とろむ</p> <p>内容 「空戸市のふるさと納税に対する取り組みについて」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今回の現地調査は、本市と同じような地理的背景や産業構成でありながら、ふるさと納税額が5倍も多い理由を探り、本市のふるさと納税増収に向けた政策提言を行う事を目的としたものである。</li> <li>2/6(木) 午後から担当職員3名の方と意見交換。空戸市のふるさと納税増収に向けた取り組みについて、3項目にわたって質問し、本市との違いについて議論した。</li> <li>2/7(金) 午前中、「道の駅」とろむにおいて、担当者から現状説明を受けながら、意見交換をした。</li> </ul> |                                 |                                  |

○ 本市との相異点と重点項目について

① 空野市は広報と発信に力を入れている。  
メディア、スマホ対応について学ぶべきものが多い  
あった(テレビ、新聞、雑誌、インターネット等)。

② 担当課が本市とは違って商工課系にあるので、  
業者との連携がスムーズに押んでいる。  
本市も来年度から観光商工課に移動するとの  
事である。

③ 最重要視しているのは、リポーターの管理体制で  
あるとの事であった。  
本市はこの事をもっと研究すべきであると思う。

④ 返礼品のアイテム数増加に向けて官民連携を  
取りながら研究しているとの事であった。  
この事は本市にとって最大の課題の一つである  
と思うので、学習を重ねたいと思う。

※ 空野市の濱田課長補佐からの提案で本市との  
コラボ商品の開発を提案されたので、今後みらい  
内で、大学生達と活動している「リボンプロジェクト」  
として、一緒に取り組むよう逆提案し、4月以降から  
スタートさせる事で合意した。